

■ 書籍・雑誌

■ 薬理学・薬物動態学・臨床薬学

処方わかる医療薬理学〈2012-2013〉 ¥3,360

【発行元】学習研究社【著者／編者】中原保裕【発行年】2012年
循環系治療薬、消化系治療薬、呼吸系治療薬、内分泌・代謝系治療薬、抗炎症・抗アレルギー薬、ホルモン剤、骨・カルシウム代謝薬ほかの項目別に、臨床に役立つ薬の知識を解説する。

やさしい薬理のメカニズム―薬のはたらきを知る ¥2,520

【発行元】学習研究社【著者／編者】中原保裕【発行年】2011年
薬が体に作用する目に見えない過程、薬理のメカニズムを、図表を使ってわかりやすく解説する。狭心症、高血圧症からうつ病、白内障まで薬のもつ作用機序を解説。薬理が苦手な人、薬理の作用を知りたい人のための薬理の入門書。

カラー図解これならわかる薬理学 ¥6,720

【発行元】メディカルサイエンスインターナショナル【著者／編者】Heinz Lüllmann他【発行年】2012年
薬理学の基礎から薬物動態のメカニズム、疾患との関係まで、薬理学の全領域を網羅し、1項目を見開き2頁で簡潔に解説。医・薬・看護系学生のサブテキストとして、また臨床医の知識の整理にも有用な一冊。

薬剤・検査データの読み方改訂4版 ¥1,890

【発行元】じほう【著者／編者】池田千恵子【発行年】2010年
薬剤師のための臨床検査の知識

薬剤師のための臨床検査ハンドブック 第2版 ¥4,830

【発行元】丸善【著者／編者】前田正子・高木康【発行年】2011年
臨床検査、臨床検査値と薬剤の関係について詳述した薬剤師のためのテキスト。薬剤の臨床検査値への影響、臨床試験(治験)における病態・薬物副作用以外での臨床検査値の変動因子、実際の症例での臨床検査の変動なども詳解。

服薬指導のためのくすりの効き方と作用〈1〉～〈4〉 —

【発行元】じほう【著者／編者】國正淳一【発行年】—
国内で市販されている医家向け医薬品の中から薬効分類毎に最も繁用されている内服薬111品を選び、各薬剤の薬理作用発現メカニズムをわかりやすく紹介。各項目末にメモ欄あり。